

# 2002 神戸学院大学 Green Festival

## 第186回

10月26日(土) 15:00開演

●島泰子(ヴァイオリン) ソロとデュオの午後  
銅銀久弥(チェロ)

## 第187回

11月2日(土) 15:00開演

●仲道祐子 ピアノ・リサイタル

## 第188回

11月12日(火) 16:30開演

●巖慶谷と茂山正邦・京劇と狂言の夕べ  
京劇『下山』／狂言『賞聲』／狂言(日中共演)『空腕』

## 第189回

11月16日(土) 15:00開演

●長谷川陽子 チェロ・リサイタル  
ピアノ／野平一郎

## 第190回

11月30日(土) 15:00開演

●長岡純子(ピアノ) ソロとデュオの午後  
岡田英治(ヴァイオリン)

## 第191回

12月7日(土) 15:00開演

●風呂本佳苗(ピアノ)  
伊藤真理子(ヴァイオリン) トリオの午後  
黒田育世(チェロ)

## ●入場無料



会場／神戸学院大学メモリアルホール(9号館)

主催／神戸学院大学

後援／兵庫県・(財)神戸市民文化振興財団

インターネットホームページ <http://www.kobegakuin.ac.jp/>  
神戸学院大学イベント情報

- お申込方法 ◎官製往復ハガキを使用してください。申込者多数の場合は抽選になります。
  - ・ 往信裏面に①公演日 ②公演名 ③住所 ④氏名 ⑤電話番号をご記入ください。
  - ・ 返信表面にお申し込みの方の郵便番号、住所、氏名をご記入ください。
  - ・ 返信裏面は空白のままをお願いします。
  - ・ 1枚につき1公演、1名様のみのお申し込みになります。
  - ・ 受付期間は各公演の1カ月前～2週間前(必着)です。
  - ・ 学齢期に達していないお子さまの申込および入場はできません。
- お申込み・お問い合わせ先  
〒651-2180 (郵便番号のみで到着します)  
神戸学院大学グリーンフェスティバル係 電話078-974-1551(代)
- 交通経路と所要時間
  - ① JR「明石」駅より「神戸学院大学行」バスに乘車(約20分)
  - ② 神戸市営地下鉄「伊川谷」駅より「神戸学院大学行」バスに乘車(約15分)
  - ③ JR「朝霧」駅より「神陵台行」バスに乘車、終下車後徒歩約12分※お車でのご来場は固くお断りいたします。

## 島泰子・銅銀久弥 デュオとソロの午後

- 曲目 ●ヘンデル～ハルヴォルセン……バッサカリア
- ハイドン……ヴァイオリンとチェロのための二重奏曲 二長調
- カサド……無伴奏チェロ組曲
- U. J. フルーリー……無伴奏ヴァイオリン・ソナタ
- コダーイ……ヴァイオリンとチェロのための二重奏曲 作品7
- バルトーク……ハンガリー民族舞曲

グリーン・フェスティバルでは、ピアノ・トリオの中の弦のお二人がデュオを披露されたことはあったのですが、弦のデュオを中心に据えた企画は初めてです。余り一般的に知られていないこのジャンルにも魅力的な曲はいくつもあり、その中から4曲が披露されます。他にそれぞれの楽器の無伴奏曲を1曲ずつお願いして変化をつけました。弦楽器のお好きな方には聴き逃さない魅力的なコンサートです。桐朋学園大学、スイスのベルン音楽院出身の島さんは1990年秋に続いて、久々の2回目の登場。島さんの先輩でNHK交響楽団フォアシュベラーの銅銀さんは初登場です。

## 仲道祐子 ピアノ・リサイタル

- 曲目 ●モーツァルト……ロンド 二長調 K. 485
- シューマン……蝶々 作品2
- コープランド……舞踊組曲「ロデオ」より 2曲
- ガーシュウィン……「ソングブック」より 7曲
- モーツァルト……ロンド イ短調 K. 511
- シューベルト……即興曲 D.899 (作品90) 全4曲

グリーン・フェスティバル初登場。ご存知の方も多いと思いますが、私どものレジデント・アーティストである仲道郁代さんの妹さんです。ドイツで名教師クラウス・シルデ氏に師事されたのはお姉さんと同じですが、ミュンヘン国立音楽大学の大学院を出られてからは、しばらくドイツのハンブルクを拠点に活動しておられました。1996年から日本での本格的ソロ活動を始められ、CDも4枚をリリースされていずれも高い評価を得ておられます。レパートリーにはお姉さんが余り弾かれないものも含まれ、今回の曲目もピアノの魅力の色々な面を楽しめるヴァリエーションに富んだものになっています。将来を大へん期待されているピアニストの一人であり、お姉さんとはまた違った持ち味をお楽しみいただけたらと思います。

## 巖慶谷と茂山正邦・京劇と狂言の夕べ

- 京劇……「下山」 巖慶谷
- 狂言……「實智」 茂山正邦
- 狂言……(日中共演)「空腕」 巖慶谷・茂山正邦

珍しい企画になりました。巖慶谷さんは、上海京劇院に所属する国家一级の京劇俳優。昨秋から、本学の外国人研究員制度で日本の古典芸能を学ぶために留学中です。とくに実演は狂言に的をしばって茂山正邦さんに師事し、稽古を重ねてきました。かたや正邦さんは紹介するまでもないでしょう。茂山千五郎家の長男、若手狂言師の先頭に立つ人です。その二人が、大曲「空腕」に挑みます。これは若い師弟コンビが、日本と中国の文化の壁をやすやすと乗り越えてしまった驚くべき成果です。

あわせて、二人に得意の演目を演じていただきます。巖さんには、修業を嫌って山寺から逃げ出す小坊主を滑稽に演じる京劇「下山」、正邦さんには、喧嘩をしつつも愛情いっぱいの夫婦を描いた狂言「實智」。京劇と狂言、そして京劇俳優が演じる狂言。もりだくさんのプログラムをお楽しみください。

## 長谷川陽子 チェロ・リサイタル

- 曲目 ●マラン・マレ……5つの古いフランス舞曲
- ドビュッシー……チェロ・ソナタ 二短調
- ブランク……チェロ・ソナタ
- フランク……チェロ・ソナタ イ長調

レジデント・アーティストである陽子さんには、彼女に選んでいただいたお好みのソナタ十数曲を、毎回あるテーマにまとめて本年から5回連続でご披露いただく企画をご提供します。お相手のピアニストも1回ごとに変わる予定です。先陣を切る今回は「フランスもの」のテーマで小品1曲とソナタ3曲のプログラム。メインのフランクのソナタの原曲はどなたもご存じのヴァイオリン・ソナタですが、この曲は他の楽器の人を引きつけるのか、チェロでもしばしば弾かれ、フルートやクラリネットでもよく吹かれます。「あれはチェロのための曲」と言われる陽子さんの演奏に乞う期待。多くのソリストからお相手に引っ張りだこの名手野平さんは1997年秋、1998年春に続き3回目の登場です。

## 長岡純子・岡田英治 ソロとデュオの午後

- 曲目 ●モーツァルト……ヴァイオリン・ソナタ 変ロ長調 K. 378
- シューマン……子供の情景 作品15 <ピアノ・ソロ>
- ベートーヴェン……ヴァイオリン・ソナタ 第9番 イ長調 作品47「クロイツェル」

大阪フィルのコンサートマスターである岡田さんは、かつて名門アマステルダム・コンセルトヘボウ管弦楽団で活躍され、30年以上もオランダにお住まいの長岡さんとは旧知の間柄であることからこの企画のご披露となりました。オーケストラのメンバーにとって室内楽活動は欠かせないものであり、岡田さんもその忙しい職責のかたわら、この面でも活躍を続けておられます。ヴェテランお二人の息の合ったアンサンブルをお楽しみ下さい。岡田さんは大阪フィルで何度もご出演いただいておりますが、2000年秋の初登場で堀米さん、山崎さんとのトリオですばらしいベートーヴェンをご披露下さった長岡さんがソロを弾かれるシューマンには年季を積んだ人にか出せないものがあるのを聴きとりいただけたらと思います。

## 風呂本佳苗・伊藤真理子・黒田育世 トリオの午後

- 曲目 ●シューベルト……ピアノ三重奏曲 第1番 変ロ長調 D. 898 (作品99)
- ブラームス……ピアノ三重奏曲 第1番 ロ長調 作品8

本年最後の催しは、将来性ある若いアーティストをご紹介するシリーズのひとつです。ピチピチした生きのいいトリオをお聴きいただきます。プログラムはこのジャンルでのスケールの大きな名曲を2曲、共にフェスティバル初登場の曲ですが、ぜひご披露したいと思っていた魅力一杯の作品です。風呂本さんは1997年秋のソロ、昨秋の川島さんとのデュオに続き3回目の登場ですが、あのお二人は初登場。伊藤さんは京都市立芸術大学を出られてイギリスの王立音楽院で風呂本さんと同窓、有名なリディア・モルドゥコヴィチさんのお弟子さんです。黒田さんは神戸女学院大学からボストンのニュー・イングランド音楽院を出られ、昨年帰国されてデビュー・リサイタルを開かれました。中学校から女学院でしたから、風呂本さんの後輩に当たります。